

2025年12月期 第3四半期 決算補足説明資料

2025年11月14日

- 売上高は、前年同期比增收
- 営業利益は、人件費やレンタル品償却費の増加等により減益
- 法人得意先の堅調な稼働等により引き続きレンタル事業が連結業績を牽引

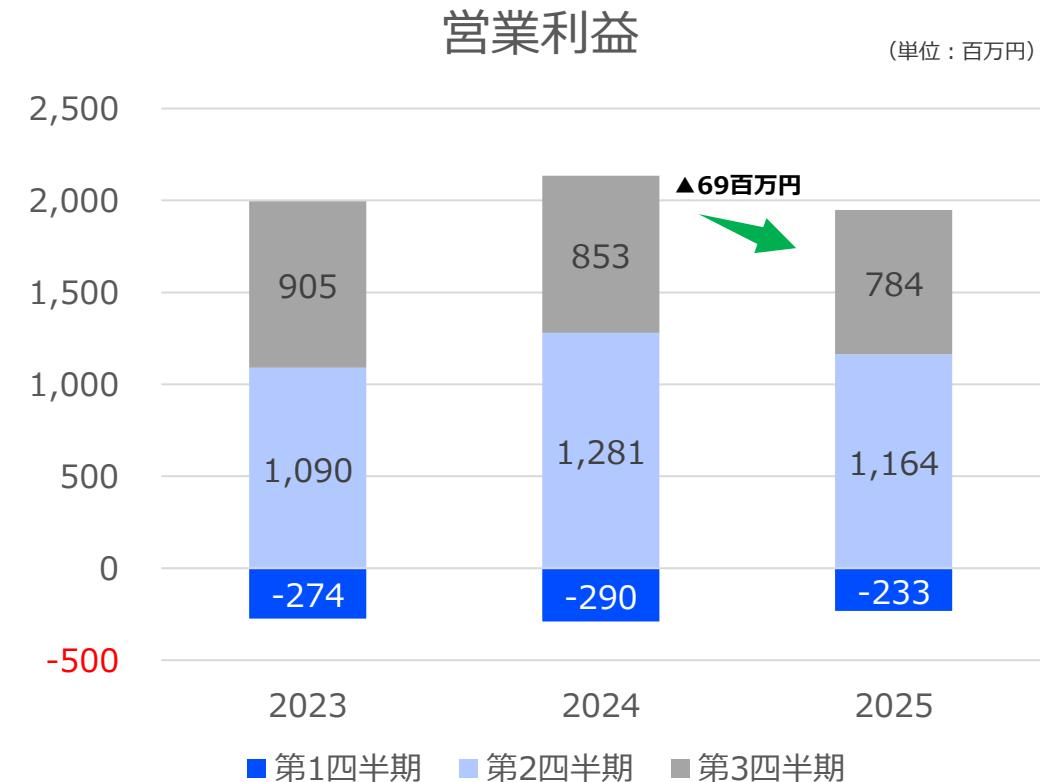
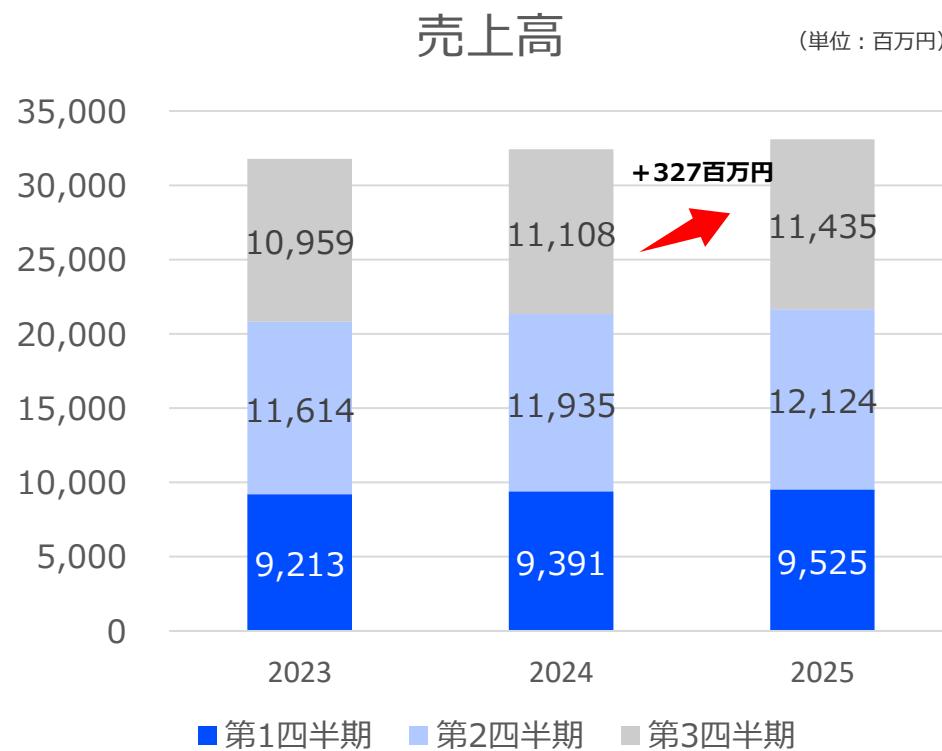
- レンタル事業における法人得意先の堅調な稼働等により、売上高は前年同期比650百万円の增收
- 人件費、レンタル品消耗費の増加等により、営業利益は前年同期比128百万円の減益

(単位：百万円)

	2024年 第3四半期	2025年第3四半期		2025年 通期見通し (2025年2月開示)	進捗率
		実績	前年同期比		
			増減		
売上高	32,434	33,084	650	2.0	44,000
営業利益	1,844	1,715	△128	△7.0	2,350
経常利益	2,013	1,833	△179	△8.9	2,570
親会社株主に 帰属する四半期純利益	1,609	1,335	△273	△17.0	1,950

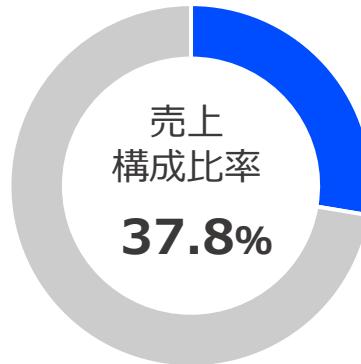
四半期毎の連結売上高・営業利益

- 売上高は、レンタル事業における法人得意先の堅調な稼働等により、前年同四半期間比327百万円の増収
- 第3四半期間の営業利益は、人件費、レンタル品消耗費等の増加により、前年同四半期間比69百万円の減益

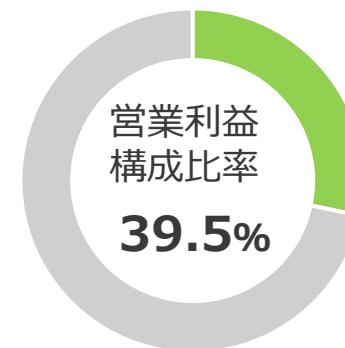


クリーニングセグメント

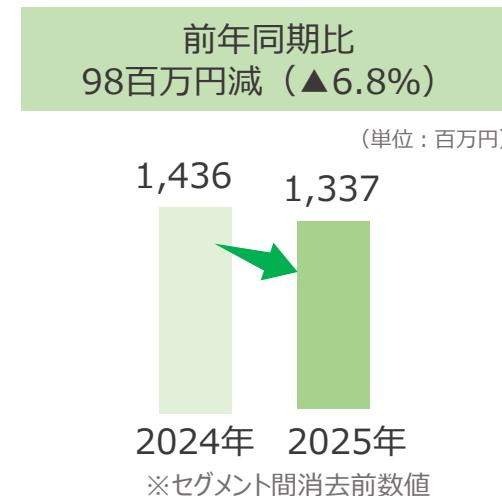
- 個人のお客さまからお預かりした品物（衣類、ふとん等）をクリーニングする事業
- 店舗、自社スタッフがお客様のご自宅までお伺いする集配サービス、「らくらく宅配便」等複数の営業窓口を展開



【セグメント売上高】



【セグメント営業利益】



【事業状況と今後の方向性】

服装のカジュアル化や在宅勤務の普及等を背景に、中長期的に需要が低下する傾向

売上高

4月1日からの料金改定により単価が増加したものの、夏季における酷暑に伴う来店客数の減少等もあり、集品点数が減少したこと等から微増に止まる

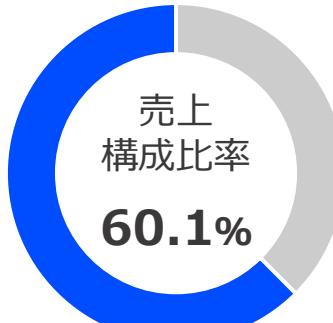
営業利益

人件費や資材費等の増加により減益

→ 拠点の集約・統合を通じた業務効率の改善、不採算店舗の閉鎖・移転といった構造改革に取り組む
加えて、商圈毎の特性に合わせたCLP集配ルートの最適化や、店舗における運営体制の見直し等を通じて、固定費の圧縮やコスト構造の改善を図るとともに、包装用プラスチックのリサイクルスキームに参画する等、環境配慮に向けた取り組みも強化

レンタルセグメント

- 法人のお客さまへ、当社グループが保有するリネン品やユニフォームをクリーニング付でレンタルする事業
- ホテル等のリネン品を取り扱うリネンサプライ事業と、コンビニエンスストア・食品工場等のユニフォームを取り扱うユニフォームレンタル事業を展開



【セグメント売上高】

前年同期比
664百万円増 (+3.5%)

(単位：百万円)

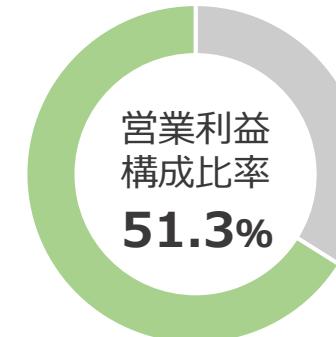
19,878

19,213



2024年 2025年

※セグメント間消去前数値



【セグメント営業利益】

前年同期比
117百万円増 (+7.2%)

(単位：百万円)

1,739

1,622



2024年 2025年

※セグメント間消去前数値

【事業状況と今後の方針】

(リネンサプライ部門)

政府の観光立国化政策を背景とするインバウンド需要の拡大等により市場が活性化

(ユニフォームレンタル部門)

食品工場等における衛生意識の高まり等を背景に堅調な需要

売上高

リネンサプライ部門において訪日外国人の増加を背景とする得意先ホテルの堅調な稼働やコスト増を受けた取引価格の改定を計画的に実施したこと等により増収

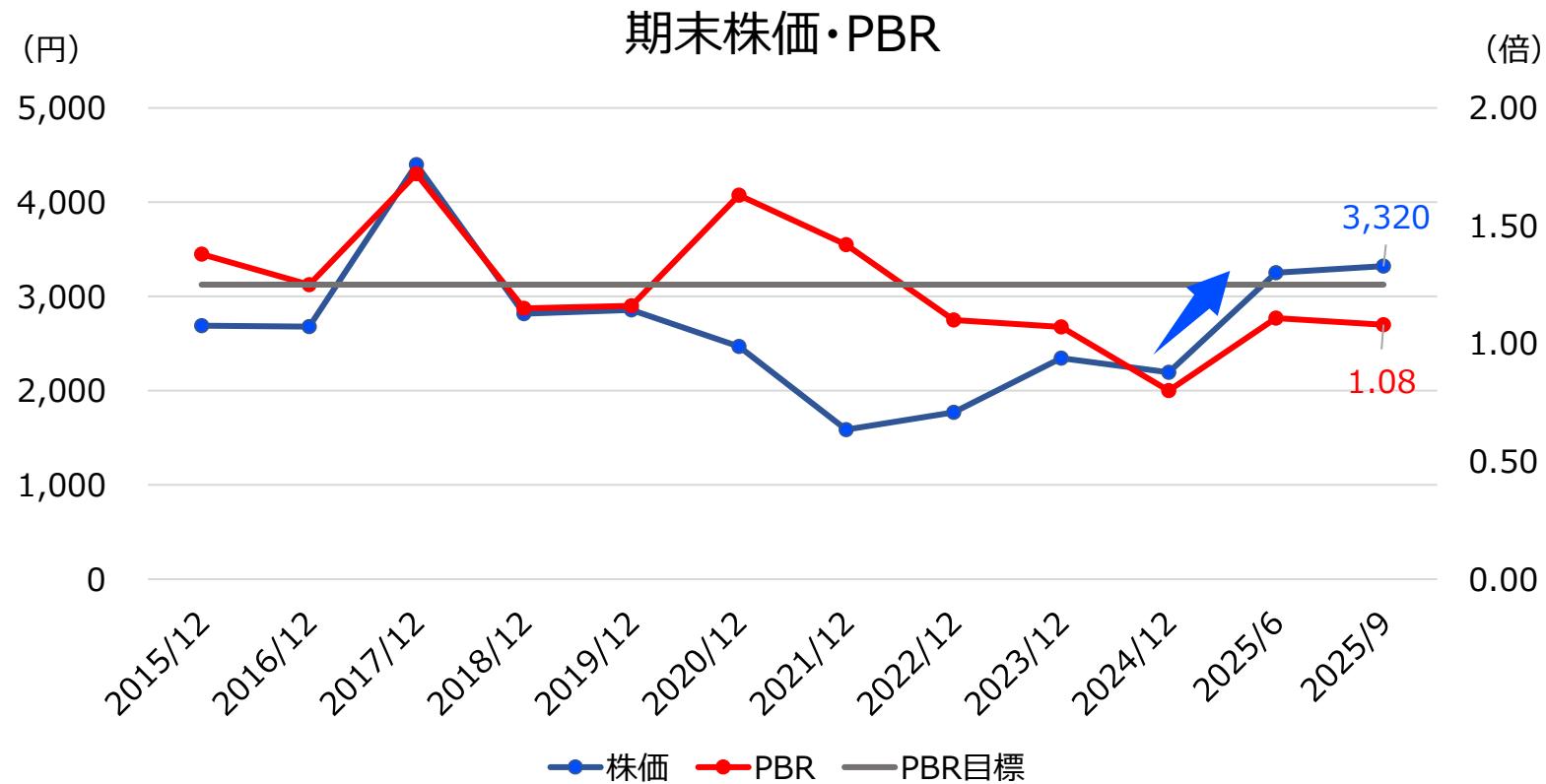
営業利益

レンタル品償却費や人件費、集配車両費等の上昇はあったものの増益

→ 需要の取り込みに向けた営業体制・生産体制の整備を進めるとともに、工場原価管理の精緻化等による事業収益の向上を図る

株価・PBRの状況

- PBRは、2024年12月期末で0.8倍と1倍を下回ったが、2025年第3四半期時点では1倍を回復
- 中期経営計画目標である $PBR = 1.25$ 倍以上は現時点で未達
- 引き続き「資本コストや株価を意識した経営の実現」の取り組みにより市場評価を得ていく



本資料に記載されている内容については、当社が現時点で入手可能な情報に基づき作成したものであり、実際の業務等の結果は、今後の様々な要因により、本資料の内容と異なる可能性があります。